

2020 年 4 月 1 日 ~ 2024 年 3 月 31 日の間に 当科において全身麻酔下で下顎埋伏智歯抜歯術を受けられた方及び ご家族の方へ

「全身麻酔下での下顎埋伏智歯抜歯時の術後感染予防抗菌薬の使用期間に関する調査」
へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学歯科総合口腔医療学 講師 高尾香名
研究分担者 川崎医科大学歯科総合口腔医療学 教授 向井隆雄

1. 研究の概要

下顎埋伏智歯抜歯（親知らずの抜歯）は歯科口腔外科において頻繁に行われる手術ですが、抜歯後感染を起こして重症化すると気道閉塞をきたすこともあるので、抜歯後感染予防のために抗菌薬を一定期間処方します。しかし感染予防のために抗菌薬を不必要に長期間処方すると薬剤耐性菌の出現につながる可能性があります。今回の調査では、予防抗菌薬の投与期間により手術部位感染の発生率がどのように変化したかを調査し、今後の下顎埋伏智歯抜歯後の適正な予防抗菌薬投与期間の妥当性を見極めることを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2020 年 4 月 1 日 ~ 2024 年 3 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院歯科・口腔外科において全身麻酔下で下顎埋伏智歯抜歯術を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日 ~ 2026 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において全身麻酔下で下顎埋伏智歯抜歯術を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに対象のデータを選び、予防抗菌薬投与期間と手術部位感染に関する分析を行い、適正な予防抗菌薬投与期間について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、抜歯した部位、使用した抗菌薬の種類や期間、手術部位感染の有無 等

5)情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学歯科総合口腔医療学内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりにくく点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年10月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 歯科総合口腔医療学

氏名：高尾香名

電話：086-462-1111 内線 44631（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-464-1013

E-mail：takaok@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。